

# 会 議 報 告 書

会議名	平成28年度 第2回 三郷市地域包括支援センター運営協議会		
日 時	平成28年10月20日(木) 午後1時30分～2時30分	場 所	三郷市役所本庁舎 全員協議会室
次 第	<p>議事</p> <p>(1) 三郷市地域包括センター職員の変更等について 【資料1-①】【資料1-②】</p> <p>(2) 三郷市地域包括センター実地検査結果について 【資料2】【資料2-①～⑥】</p> <p>(3) 平成29年度三郷市地域包括支援センター及び在宅介護支援センターの受託意向の確認について【資料3】</p>		
出席者	<p>【会 長】谷口 聡</p> <p>【副会長】長谷川 一二</p> <p>【委 員】石井 みつ江、岡田 育代、水口 理恵、福島 英一、種市 ひろみ、松本 博子、児玉 幸子 (1名欠席)</p> <p>【地域包括支援センター】加藤所長(みずぬま)、星野所長(早稲田)、矢口所長(ひこなり北)、石本所長(みさと中央)、佐藤所長(みさと南)、入澤所長(しんわ)</p> <p>【事務局】増田 道夫(福祉部長)、道言 薫(福祉部理事兼副部長)、峰川 修一(長寿いきがい課長)、前川 浩司(長寿いきがい課長補佐兼長寿生きがい係長)、長濱 崇二(長寿いきがい課長補佐兼介護給付係長)、森 泰子(福祉部参事兼ふくし総合支援課長)、稲舛 克巳(ふくし総合相談室長兼総合相談係長)、谷口 寿美枝(地域包括係長)、元井 隆幸(同 主任社会福祉主事)、板垣 美慧(同 主事)、岩田 敦子(同 相談員)</p> <p>【傍聴人】なし</p>		

## ●審議事項における確認事項

議事	<p>(1) 三郷市地域包括支援センター職員の変更等について →承認</p> <p>(2) 三郷市地域包括センター実地検査結果について →承認</p> <p>(3) 平成29年度三郷市地域包括支援センター及び在宅介護支援センターの受託意向の確認について →承認</p>
----	--

## 平成28年度第2回三郷市地域包括支援センター運営協議会

### 議事

#### (1) 三郷地域包括支援センター職員の変更等について

【資料1-①】 【資料1-②】

三郷市情報公開条例 第7条(1)に規定されている個人情報に該当する審議事項のため、非公開

#### (2) 三郷市地域包括支援センター実地検査結果について

事務局	平成28年度実地検査結果については、9月に各地域包括へ訪問し、事前に作成してもらったチェックシートを元に所長より聞き取りを行った内容を合わせて、【資料2】にまとめている。 【資料2】 【資料2-①～⑥】を説明。
谷口会長	これについて意見はあるか。
水口委員	事前配布資料を当日に差し替えと言われるが、どこが違うのか。
事務局	資料送付後に地域包括より言葉の表現の変更依頼があったため、改めて作成し直したものであり、大きな変更はない。
水口委員	事前送付された資料を見て、疑問点・問題点を考えてきているが、当日全て差し替えで違う資料を出されると戸惑う。変更部分のみを抜粋して差し替えであれば、当日にこの場でチェックできるが、全てが差し替えとなると、どこが変更になったのかが分からないため、質問しづらい。
石井委員	資料は前日ではなく、もう少し早めに送付してほしい。当日までに読み込むことができない。
事務局	第3回開催時にはもう少し早めに資料を送付するよう心掛ける。 本日差し替え資料の変更点について説明する。 【資料2】の地域包括早稲田の(個人情報の管理)の部分で「面談記録が入っているソフトにはUSBキーを入れないとアクセスできない」というように変更した。 以上。
水口委員	それだけでこれだけの紙を使っただけは、無駄になってしまうので改善してもらいたい。
谷口会長	内容に関して何か質問はあるか。
種市委員	チェックシートの中で「3以下」や「いいえ」がついているところ確認すると、共通して「介護支援専門員との連携」の部分が難しいという回答であったようであるが、この部分については、この地域全体で介護支援専門員との連携が難しいと捉えていいのか
事務局	7ページ、5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務②(1)については、各地域包括の所長は普段の業務の中で介護支援専門員に相談のアドバイス・助言は常に行っているが、指導までは行っていないと捉えたようで、質問内容の書き方の問題で「いいえ」の回答が増えてしまった。
種市委員	特に関係が悪いとか難しいということではなく、質問の内容による問題であったのか。
事務局	地域包括支援センターの役割として、介護支援専門員の支援・指導という役割もあるため質問事項に「指導」という言葉を入れたが、各地域包括の所長は「指導」という言葉を厳しく

	捉えたと考えている。
水口委員	5 ページ、2. 総合相談業務①についてはどこの地域包括も同じ答えが書いてある。毎年、この部分については「思ったようにできていない」という報告が多いが、それに対して行政側としては、「こうしたらいいのではないか」というような提案をしているのか。
事務局	各地域包括とも業務の中で地域の方々との繋がり作りに苦慮しており、ヒアリングの中でも来年度に向けてこの部分を強化したいと言っていた。どこに社会資源があるのか地域包括係内だけでは把握しきれない部分もあるので、今後は町会やスポーツ団体等担当している他の部署とも連携していきながら地域包括にも情報提供していきたいと考えている。
種市委員	今回、報告書を6地域包括分冊子に分けて見やすくなってはいるが、レーダーチャートのようにどの部分の得点が少ないということやこの部分が共通して難しいというようなことが視覚的に分かる資料があると非常に話がしやすい。今後、お願いしたい。
事務局	平成29年度以降の報告についてはレーダーチャートもつけて報告書を作成したい。
水口委員	【資料2】みさと中央の(2枚目)2. 総合的課題と支援方針の中で、事務所の位置が市の東側に偏っており相談者の心理的障害になっているとの記載がある。この部分は区分けの当初から大変な地域の区割りを大きく変えたことで昨年度の運営協議会で問題視していたことなので、行政側は場所を提供するなど何か具体的支援方法を考えるべきではないか。他の包括は大きな法人が経営しており資金力や人脈があると思うが、みさと中央は個人経営の病院で規模が小さいのに関わらず地域のために尽力してくれているので、行政側でしかできない支援を考えてほしい。
松本委員	同感である。職員が少ないうえに広い地域の担当となっている。西側から相談に行くとなると、交通機関がとても不便である。事務所の位置を真ん中にするよう検討をお願いしたい。
事務局	みさと中央の所長からも所在地から彦成地区やピアラシティへ訪問に行くには車でも時間がかかると聞いている。近くに大場川も流れているので立地的にも圏域内の市民が行きにくい場所にあると考えられる。昨年度の圏域変更の話し合いの時点から事務所の移転については市でも検討しているが、なかなかいい場所が見つかっていない。移転先が見つければ、家賃の一部補助も行っていく予定である。みさと中央の圏域の中の彦成地区に在宅介護支援センター三郷藤光苑があるので、そちらの相談窓口にも協力・応援を仰ぎながら、広い圏域をカバーしていけるように考えている。
石井委員	実地検査の結果の時間外勤務の部分であるが、各地域包括ともある程度の時間で収まっていると報告されているが、先程聞いたように退職や休職により人数の少なくなっている地域包括は本当に収まっているのか。大変な思いをしているのではないかと推測するが。
谷口会長	新しくできた2カ所の地域包括と職員が入れ替わったみずぬまは特に所長が一人で抱え込み負担が大きくなっているのではないかと。安定するまでは大変かと思うが、見込はどうなのか。
みずぬま	この調査は27年度のもので、自分は28年度から所長として在籍している。昨年度から主任ケアマネが不在の時期があり、そのころから人員不足で分担ができなかったために前任の所長にも相当の労力がかかっていたと聞いている。みずぬま市民センターは21時まで開館しているが、ほとんど21時まで勤務していたようである。今年度に関しても、採用した保健師が包括業務が初めてであったため、4月から一人で3人分の仕事をしているような状況

	であり、役割分担もなくやっている。会館は21時まで開いているが、事務所は17時15分で閉めさせてもらい、できるだけ早めに帰るように努めている。時間外は留守電対応を行っており、相談が入れば翌営業日に対応している。
早稲田	日中の訪問から戻り事務処理を行うが、概ね18時から19時には帰れる状況になっているので、大幅に時間超過ということはない。
ひこなり北	4月の開設当初は全員で遅くまで残ることもあったが、現在は概ね時間内で終わっている。だいぶ慣れてきた。
みさと中央	毎日時間外勤務は30分程度で終わるようにして、仕事が溜まってきたら土曜に出勤して処理している。
みさと南	職員はほぼ残業なく定時に帰ることができている。現在は若い職員も入職後2～3年経ち稼働できるようになったので、ようやくケースを割り振れるようになった。若い職員が一人で稼働できないうちは、どうしても所長に業務負担が集中してしまうと考える。
しんわ	所長には管理業務もあるので、多少の残業は生じているが、他の職員は例外的に帰り際に相談が入った場合以外はほぼ定時で退所している。第6圏域は社会資源が少ないので、夏以降、主に所長の自分が地域のサロンに出向いて講座を開くことに力を入れているが、他の職員が慣れてきたので自分のケースを割り振るようにして、少しずつ業務の分け方を検討している。
谷口会長	だいぶ慣れてきた地域包括もあるようだが、若い人が育ってきて所長の負担が減るといった話もあったので、職員の入れ替わりがある地域包括はやはり所長の負担が大きくなり大変であることが分かった。 他に何か質問はあるか。(質問なし)
<b>(3) 平成29年度三郷市地域包括支援センター及び在宅介護支援センターの受託意向の確認について</b>	
事務局	【資料3】の説明。5地域包括からは来年度も受託する意向の解答があった。みずぬまについては法人の評議委員会後に回答をもらう予定である。在宅介護支援センターについては、委託料に関して調整中で、調整後に回答をもらうこととなっている。
谷口会長	意見・質問はあるか。(質問なし) 以上で本日の議事について全て終了した。以後の進行を事務局に戻す。
<b>・連絡事項</b>	
事務局	次回の第3回地域包括支援センター運営協議会は平成29年2月16日13時30分を予定している。詳細が決まったら通知する。
長谷川副会長	これをもって平成28年度第2回三郷市地域包括支援センター運営協議会を終了する。